

科目名	学科	学年	単位	教科書（発行者）	副教材等
Speak Up	国際交流科	1	2	BIG DIPPER English Expression I	BIG DIPPER English Expression I ワークブック

科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある英語を聞いて、概要を聞き取ることができる。 ・学んだ語彙や文法事項や表現を運用して、自分の考えをまとめることができる。 ・お互いに自分の意見を発信し、それについて質問したり答えたりすることができる。
---------	---

学期	月	単元・題材	学習項目	学習のねらい（到達目標）	
一	4	Lesson 1	「だれが」「～する」をはっきりと	L: はっきり、ゆっくり繰り返して話されれば、クラスルームイングリッシュを聞き取り、指示を理解できる。教師や友達の話す内容に対して、相づちを打ったり、聞き直したりすることができる。 R: 英文の概要を理解し、大きな声で音読することができる。 S: 学んだ事を使って、自分の伝えたいことを表現することが出来る。その日学んだSETフレーズが言える。 W: 学んだ文法や表現を使って自分のことについて紹介する文章を書くことができる。	
		Lesson 2	動詞をうまく使おう		
		Lesson 3	名詞の数などに気をつけよう		
	5	Lesson 4	肯定文・否定文/疑問文		
		Lesson 5	現在・過去/進行形		
	6	Lesson 6	未来表現		L: はっきり、ゆっくり話された内容を聞く活動などにおいて、その内容を理解することができる。 R: キーワードの意味が分かり、新しい文法や構文の説明を習えば、教科書の概要を把握することができる。大きな声で音読することができる。 S: 自分の伝えたい内容を、表現することができる。5W1Hの疑問詞を使って、基本的な質問をすることができる。 W: 与えられたテーマに関して、学んだ語彙や表現を使って、自分の伝えたい内容を簡単な英語で書くことができる。クラスメイトの作った英作文を読んで、質問を作ることができる。
		Lesson 7	現在完了/過去完了		
Lesson 8		助動詞①			
Lesson 9		助動詞②			
7	Lesson 10	文型	L: 教師の英語を正しく理解し、指示に従うことができる。他のグループの発表を聞いて内容をおおまかに把握することができる。 R: 教科書の内容を理解できる。クラスメイトの英文を読み、より理解を深めるための質問をすることができる。 S: グループで作成したDIALOGUEを大きな声で発表することができる。相手の発表に対して、質問をすることにより、関心を示したり、お互いにコミュニケーションを深め、話を発展させることができる。 W: 海外語学研修の様々な場面（ホームステイ・学校生活・買い物）を想定して、教科書で学んだ喜び・驚き・感謝・謝罪の表現を活用し、グループでDIALOGUEを作成することができる。		
	Lesson 11	受け身 短い文章を書いてみよう			
	Lesson 12	不定詞①			
二	9	Lesson 13	不定詞②	L, S: 自分の意見をまとめたり、発表したり、友達の発表を聞いて、概要を把握し、疑問詞を使って質問をしたり、それに答えたりすることができる。 L, R: 聞いたたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えをまとめたりすることができる。また、比較表現の使い方を理解できる。 R, S: 関係詞を使って、物を説明することができる。 W: ディベートを想定し、理由をつけて賛成したり、反対したりする表現を学び、英作文の時に、自分の意見をまず述べ、その理由や具体例など説得力を増すための支持文を書くことができる。	
		Lesson 14	動名詞		
		Lesson 15	分詞 文のつながりを示す語句を使おう①		
	10	Lesson 16	比較①		W: 段落構成を理解し、作文に活かすことができる。
		Lesson 17	比較②		
	11	Lesson 18	関係詞①		L: ゆっくり繰り返して話される身近な話題や教科書に関する教師の話や説明を理解することができる。英語での授業の流れにスムーズについていくことができる。 W: 教科書のキーフレーズやモデル文を参考に、自分の伝えたい内容を書くことができる。 R: 簡単な文章を読んで、概要を把握し、質問に英文で答えたり、内容について質問をしたりすることができる。 S: 間違いを恐れず大きな声で積極的に発言することができる。疑問詞を使って、基本的な質問をすることができる。
		Lesson 19	関係詞② 文のつながりを示す語句を使おう②		
12	Lesson 20	仮定法	L: ゆっくり繰り返して話される身近な話題や教科書に関する教師の話や説明を理解することができる。英語での授業の流れにスムーズについていくことができる。 W: 教科書のキーフレーズやモデル文を参考に、自分の伝えたい内容を書くことができる。 R: 簡単な文章を読んで、概要を把握し、質問に英文で答えたり、内容について質問をしたりすることができる。 S: 間違いを恐れず大きな声で積極的に発言することができる。疑問詞を使って、基本的な質問をすることができる。		
	Lesson 21	接続詞 書いた内容を読み返し、書き直そう			
	Lesson 22				
三	1	Lesson 20	仮定法	L: ゆっくり繰り返して話される身近な話題や教科書に関する教師の話や説明を理解することができる。英語での授業の流れにスムーズについていくことができる。 W: 教科書のキーフレーズやモデル文を参考に、自分の伝えたい内容を書くことができる。 R: 簡単な文章を読んで、概要を把握し、質問に英文で答えたり、内容について質問をしたりすることができる。 S: 間違いを恐れず大きな声で積極的に発言することができる。疑問詞を使って、基本的な質問をすることができる。	
	2	Lesson 21	接続詞 書いた内容を読み返し、書き直そう		
	3	Lesson 22			

評価の観点・評価の方法	◎評価の観点			
	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
	教科書の問題の予習やワークブックの提出をしているか。ワークシートを使ったペア活動・グループ活動に積極的に取り組んでいるか。発表や質疑応答に取り組んでいるか。	教科書で学んだ表現などを利用して、自分の考えを書いたり発表したりすることができるか。読んだり聞いたりした内容に関して、疑問詞を使って、質問文を作ることができるか。	表現の基礎となる文法事項を理解し、さまざまな話題やテーマについて、英語を読んだり聞いたりして情報や考えなどを理解することができるか。	文法事項を理解し、問題が解けるか。その文法事項を使って、表現できるか。聞いたたり読んだりした時に、正しく理解することができるか。様々な語彙や表現をどの場面で活用するか分かるか。
◎評価の方法				
授業の活動への取り組み状況とワークシートの充実度②各LESSON毎の英作文 ③Presentation活動 ④考査 ⑤ワークブックの提出⑥SETファイルの提出				